

森はあらゆる芸術の
源である。

館蔵品展

初代館長針生一郎
没後7周年記念
金津創作の森

KANAZAWA FOREST OF
CREATION
MUSEUM
COLLECTION

2018 1.20[sat] → 3.4[sun]

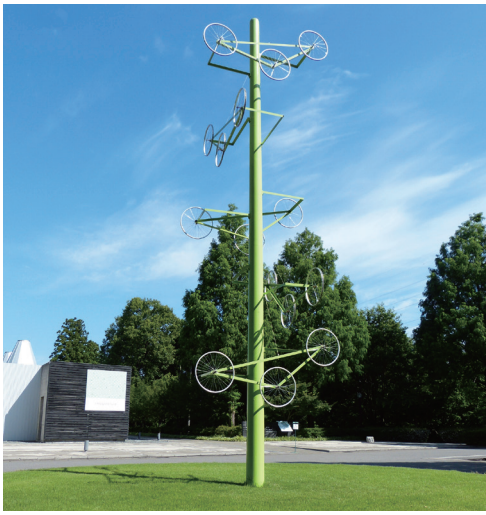
10:00～17:00(最終入場16:30) 月曜日休館 ※2月12日(月・祝)は開館、13日(火)は休館

金津創作の森 アートコア ミュージアム-1・ギャラリー

観覧料:一般300円(200円)、65歳以上及び障がい者150円、
障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)、高校生以下無料 ※()内は20人以上の団体料金

主催:(公財)金津創作の森財団
共催:あわら市、あわら市教育委員会
後援:(公財)福井県文化振興事業団、福井新聞社、北國新聞社、FBC福井放送、福井テレビ、FM福井、
福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ、(一社)あわら市観光協会、月刊URALA編集室、(株)金沢倶楽部





書道パフォーマンス、ライブペインティングで制作した作品も展示



武田双雲 書道パフォーマンス 2010年



荒井良ニライブペインティング 2012年

1	2
3	5

1.平川滋子「風車」コンクリート、鉄、車輪 2011年 2.土屋公雄「隠されたピラミッド」コンクリート、木、鉄 2005年撮影:武藤滋生 3.ニック・マウント「無題」ガラス 2001年(左)マイケルシャイナー「無題」ガラス 1998年(右) 4.ベンジャミン・イードルズ「無題」ガラス 2006年 5.テープスィリ・スクソーパー「無題」紙、パステル、1999年

森はあらゆる芸術の源である。

初代館長 針生一郎

(1925-2010)



初代館長針生一郎
没後7周年記念

金津創作の森

KANAZAWA FOREST OF
CREATION
MUSEUM
COLLECTION

館蔵品展

2018 1.20[sat] → 3.4[sun]

本展では、「森はあらゆる芸術の源である」という基本信念のもと、初代館長針生一郎(1925-2010)が提唱した現代アートのシリーズ企画「アートドキュメント」とアーティスト・イン・レジデンスによる現地制作の作品や、当館がスタジオ・ガラスの発信地として歩む契機となった展覧会「ガラスアートドキュメント'98」(1998年)から続いた「ガラスワークショップ」の招待作家の作品まで、当館館蔵品の数々を一堂に紹介します。

会場 アートコアミュージアム-1・ギャラリー

開館時間 10:00~17:00(最終入場16:30)

休館日 月曜日 ※2月12日(月・祝)は開館、13日(火)は休館

観覧料 一般300円(200円)、65歳以上及び障がい者150円、

障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)・高校生以下無料

※()内は20人以上の団体料金

初代館長 針生一郎出演 映画上映会

SPECIAL EVENT

上映 01 日本心中 針生一郎・日本を丸ごと抱え込んでしまった男

90分・2001年

戦後日本の50数年を、美術・文芸評論を通して闘ってきた批評家針生一郎の言説でイメージーション豊かに織りなすドキュメンタリー映画。

監督=大浦信行 出演=針生一郎、大野一雄ほか

日程 1月20日(土)、2月10日(土)
13:30~15:00 ※開場13:00

会場 アートコア ミュージアム-2

定員 150名(全席自由・要展覧会観覧券)

上映 02 9.11-8.15 日本心中

145分・2005年

針生一郎と重信メイ(ジャーナリスト)の言葉を中心に、アメリカ同時多発テロ(2001年)との関連から現代日本を見つめ直そうと試みたドキュメンタリー映画。

※重信メイ:レバノン系及びバレスチナ系日本人。重信房子は母

監督=大浦信行 出演=針生一郎、重信メイ、金芝河ほか

※金芝河(キムジハ):大韓民国の詩人・思想家

日程 1月21日(日)、2月11日(日・祝)
13:30~15:55 ※開場13:00

会場 アートコア ミュージアム-2

定員 150名(全席自由・要展覧会観覧券)

ACCESS MAP

アクセスマップ



北陸自動車道金津ICから車で5分
JR芦原温泉駅からタクシーで約10分